

報道関係者各位

ホテル総支配人や業界の方など 24 名を審査員に迎え、第 31 回弁論大会を開催

予選を通過した日本語部門 5 名、英語部門 5 名、計 10 名の学生が熱弁

専門学校日本ホテルスクール(東京都中野区 石塚勉校長)は、第 31 回弁論大会を 11 月 8 日(火)、なかの ZERO ホールで開催しました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、会場内の密を避け感染予防を目的に YouTube Live を活用したオンライン配信も行いました。今年は、ホテル総支配人、業界関係者、観光業界を代表するメディア関係者の方など 24 名のゲスト審査員、弁士のご家族や友人 4 名、教職員 30 名、会場での観覧希望の学生約 230 名、そしてオンライン配信を視聴する在校生約 290 名の聴衆を前に、総勢 20 名が参加した予選を通過した日本語部門 5 名、英語部門 5 名、計 10 名の弁士が熱弁を振りました。

弁論大会は「表現力、語学力の向上」「同世代間の考え方・価値観の共有」などを目的として開始され、今回で 31 回目を迎えました。本大会は、学内レベルの大会としては類を見ない規模で、毎年、ホテル総支配人や業界企業トップの方などゲスト審査員を迎えて実施しています。本校は開校以来、「産学連携」を軸とし、ホテル・ブライダル企業を中心に企業と連携した実践教育を行っています。

今年の弁論大会は、「アフターコロナの日本社会のためにホテル・ブライダル業界ができること」「業界への新しい発想や理想について」を論題としました。コロナ禍を経験している学生が、ホテル・ブライダル実習や日頃のアルバイトなどの体験を通してサービスに対して感じていること、現在自身が取り組んでいること、自身と社会との関わり、そして将来活躍の場であるホテルやブライダルの業界への提案など、弁士は予選会からさらに内容をまとめ、練習した成果を発揮し、堂々と伝えていました。

日本語部門最優秀賞は、昼間部ホテル科 2 年生新屋敷直人さん(神奈川県立城郷高校出身)による、わざわざそのホテルに泊まるのが旅の目的とする「わざわざホテル」を題材に、ホテルが旅の目的地になるために、感動や共感とともに新たな価値を与えることが求められ、SNS の利用により新たな顧客を生み出すことをテーマとした「Waza Waza ホテル」、優秀賞は昼間部ホテル科 2 年生赤羽菜々さん(埼玉県立松山女子高校出身)による、お客様のニーズを知るために積極的なコミュニケーションが必要と言われる接客業において、必要以上に干渉しない接客が顕在化したニーズになっている現状から、必要以上に接客しないことをコンセプトとして打ち出すことで新たな顧客の開拓につながることをテーマにした「そっとしてほしい人がいる」が選ばれました。

英語部門最優秀賞は、昼間部英語専攻科 2 年小林かれん桜子さん(海外の学校出身)による、ホテリアは、さまざまなバックグラウンドや幅広い国籍を持つ人々をはじめ、「人」を相手にする職業だからこそ、お客様の要望を十分に理解することが必要である現状から、LGBTQ(IA+)として表されるセクシャルマイノリティのお客様も含めたすべての人が気持ちよく過ごせるホテルの在り方をテーマに、本当のおもてなしとはホスピタリティをもってお客様に施す心遣いであることを論じた「Rainbow(レインボー)」、優秀賞は、昼間部 2 年生英語専攻科窪田海咲さん(新潟県立新潟高校出身)による、企業が従業員の健康増進を経営上の一戦略として捉え、考え方を取り入れる企業が増加している背景から、業界の高い離職率や慢性的な人手不足という課題を解消するためにも、ホテル企業においても従業員の健康とその管理体制の在り方を考える必要があり、企業が継続的に従業員の心と体の健康に向き合うことが質の高いサービスの創造につながることを論じた「Health and Wellness for Employee(業界における従業員の健康と幸福)」が選ばれました。

そして、日本語部門出場者の夜間部ブライダル科 1 年生林仁美さん(東京都立練馬高校出身)の「一味同心」、昼間部ホテル科 2 年生引馬凜夏さん(東京都立富士森高校出身)の「『食』の楽しみ」、昼間部ブライダル科 2 年生三宅光美さん(神奈川県立平塚江南高校出身)の「人生の節目」、英語部門出場者の昼間部英語専攻科 1 年生任碩媛さん(中国/赤門会日本語学校日暮里校[東京]出身)の「How to be a good human staff(良い人間のスタッフになる方法)」、昼間部ブライダル科 2 年本間水結さん(神奈川県立厚木西高校出身)の「Daily life(日常生活)」、夜間部ホテル科 2 年生武内詩奈さん(海外の学校出身)の「Who owes distinctiveness on sustainability?(“サステナビリティ”は誰のものなのか)」が努力賞を受賞しました。

日本語部門最優秀賞受賞者には、パーク ハイアット 東京総支配人エルヴェ マゼラ様より宿泊券、ヒルトン東京ベイ様より宿泊券、フォーシーズンズホテル丸の内東京様よりアフタヌーンティー招待券、リゾートトラスト株式会社ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜様よりディナーブッフェ招待券が贈られました。英語部門最優秀賞受賞者には、ザ・ペニンシュラ東京副総支配人パトリック ハドーン様より宿泊券、シャングリ・ラ 東京総支配人マティアス スッター様より THE LOBBY LOUNGE アフタヌーンティー招待券、リゾートトラスト株式会社ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜様より宿泊券、ディナーブッフェ招待券、が贈られました。また、両賞に株式会社オータパブリケーションズ様より週刊ホテルレストラン定期購読 1 年分も贈られました。

そして、日本語部門優秀賞受賞者には、アンダーズ 東京総支配人ギョーム ポピー様よりザ・タヴァン グリル&ラウンジウィークエンドランチ招待券、オークウッドプレミア東京総支配人篠原純様より宿泊券、ザ・キャピトルホテル東急副総支配人曾我部俊典様より宿泊券が、英語部門優秀賞受賞者には、アマン東京様よりアルヴァディナー招待券、東京エ디션虎ノ門統括総支配人アンシュル カウール様より宿泊券、ファーイーストビレッジホテル横浜日本エリア統括ゼネラルマネージャーマーティン フルック様より宿泊券が贈られました。

なお、努力賞を受賞した 6 名の弁士にもランチ・ディナー券やホテル宿泊券などの副賞を企業の皆様より提供いただき、それぞれの弁士に贈られました。その後、審査委員特別賞として、英語部門出場の任碩媛さんに、パーク ハイアット 東京総支配人エルヴェ マゼラ様よりニューヨークグリルレストラン招待券、日本部門出場の新屋敷直人さんに、株式会社柴田書店取締役編集部兼企画部部長阿部貞三様より「月刊ホテル旅館」定期購読 1 年分、そして弁士 10 名に参加賞として株式会社オータパブリケーションズマネージングディレクター岩本大輝様より書籍「もてなしだけではもう食えない」、株式会社観光経済新聞社企画推進部長江口英一様より書籍「5 つ星の宿」が贈られました。協賛いただきました企業の皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。

審査結果発表、表彰式の後、ゲスト審査員としてご出席いただきました、パーク ハイアット 東京総支配人エルヴェ マゼラ様より審査員を代表して弁論大会を総評いただくとともに、ホテル・ブライダル業界での活躍をめざす本校の学生に対して、“Positive (前向きな姿勢)”、“Humble (謙虚さ)”、“Flexible (柔軟性)”、“Learn Every day (学びの継続性)”、“Never Give Up (決してあきらめないこと)”、“Love People (人を愛すること)”の「6 つの大切なこと」をメッセージとして共有いただきました。

専門学校日本ホテルスクールは 1972 年開校以来、14,000 名以上の卒業生を輩出してきました。ホテル・ブライダル分野における人材育成において、ホテル単科の専門学校としては、日本で最大級、日本を代表する教育機関の一つとして、完全就職や希望の進路実現に向け、蓄積したノウハウを注いで学生を支援しております。31 回目を迎えた弁論大会は、国際化の時代に向けて、これまでと同様、ホテルの総支配人や業界企業のトップの方々をゲスト審査員として迎え、産学連携のもとで行われた学校行事の一つです。

以上

■この件に関するお問い合わせ
学校法人日本ホテル学院 専門学校日本ホテルスクール
教育部 江口 広報部(窓口) 北條
TEL: 03-3362-5001 FAX: 03-3360-6177
URL: <https://www.jhs.ac.jp>

JHSPR21-08